



奥村 大助さん  
Okumura Daisuke

〔麻生原区〕

おくむら・だいすけ / 乙女校  
区防犯パトロール隊の活動を  
乙女小学校などと連携して推  
進し、同地区全体の安全確保  
に取り組む。

## 防犯パトロールで深まる 地域と子どもたちとのきずな

「防犯パトロールの本来の  
目的は子どもたちの安全を守  
ることですが、今では活動を  
通して子どもたちとのより深  
い結び付きが生まれ、乙女地  
区の住民の生きがいにもなっ  
ています」と話すのは、乙女

地区社会福祉協議会の会長と  
して乙女校区防犯パトロー  
ル隊の活動に取り組む奥村大助  
さん。  
地域の子どもの安全確  
保のため、地域福祉推進委員  
が中心となって本町初の防犯

パトロール隊を結成したのは  
平成18年。その後、同協議会  
など地域住民が主体となって  
活動の輪が大きく広がり、現  
在では隊員約70人が自主的な  
取り組みを行っている。

「以前から乙女地区の通学  
路は、不審者がひんぱんに目  
撃され、また道幅が広くて信  
号がない道路が多いため、ス  
ピードを出して通る車が多い  
ことに、住民が不安を感じて

いました」と奥村さん。隊員  
は、主に乙女小学校に通う子  
どもたちの集団登校時や下校  
時に毎日付き添うことで、交  
通事故や不審者から子どもた  
ちを守る活動に取り組む。

活動を通じてつながった子  
どもたちと地域住民とのきず  
なをさらに深めるために、隊  
員の学校行事への招待や、教  
室で一緒に給食を食べる「ふ  
れあい給食」なども実施。そ  
の結果、同小と隊員をはじめ  
とする地域住民との連携も強  
まり、地域で子どもを守って  
いこうという意識がさらに高  
まった。

昨年10月、子どもたちを守  
るための実践的なボランティア  
活動を行っている団体に贈  
られる文部科学省の「平成25  
年度学校安全ボランティア活  
動奨励賞」を受賞した。「地  
域の先輩方がこつこつと築き  
上げた防犯パトロール隊の取  
り組みが認められ、大変うれ  
しいです」と喜びを語る。  
「今後もさまざまな形で交流  
し、地域ぐるみで子どもたち  
を育てていきたいですね」と  
地域の未来を見つめる。